

森と学びを軸としたフィンランド連携 令和7年度 フィンランド視察研修 (5/17~24)

伊那市では、森と学びを軸としたフィンランド連携を進めています。長野県と伊那市、フィンランド北カレリア地域との覚書を活かした連携事業の推進を一層加速するため、伊那市及び民間による調査団を構成し、北カレリア地域の都市ヨエンスーと首都ヘルシンキの2都市に主に滞在しながら、下記のとおり視察研修を実施します。

1 目的

森と学びを軸としたフィンランド連携を加速するために、長野県と伊那市、フィンランド北カレリア地域との覚書を活かした連携事業の推進のほか、社会や地域、暮らしとつながる実用的な学び、成長の基盤となる森から得られる学びや人材の育まれ方に重点を置くため、伊那市及び民間事業者による調査団を構成し、視察訪問を実施する。また、すでに連携のあるフィンランド関係機関との意見交換の場も併せ持つ。

「教育班」は、森での活動や日常の学びにおける教師と子どもたちのやり取りを丁寧に見とり、授業後の対話の中で ICT 活用の現状に関する聞き取り等も併せて行う。

「ビジネス班」は、学びの視点に加え、伊那市と連携の可能性がある分野を中心に、企業や大学等の関係機関との取り組みを深めるために訪問する。また、林業、食品、建築など参加者の専門的な視点で視察を行うとともに、中間廃棄物を活用して新たな商品を生み出すサステナブルな産業などから、資源やエネルギーの循環に対するフィンランドの人々の考え方についても理解を深める。

いずれも、現場で現地の人々との対話の時間を大切に、今後の市や民間事業、大学等における取組の推進や連携を深めるための機会を創出する。

2 視察期間 令和7年5月17日(土)～5月24日(土) 5泊8日

3 予定している視察先

フィンランド北カレリア地域協議会、ヘイナヴァーラプレスクール・小中学校、マルヤラ小学校、エノ小学校
ビジネスヨエンスー、VTT 国立技術研究センター、ビジネスフィンランド、LUKE フィンランド天然資源センター、東フィンランド大学、ヘルシンキ大学、エスポー市、タンペレ市、ヘルシンキ大学、モニオ高等学校とコミュニティセンター、環境配慮に関連する企業やスタートアップ企業、木造建築、地域の特徴をいかした暮らしに関連する場所(図書館、木造サウナほか)など

4 調査団 合計 18人

団長 伊那市長 白鳥 孝

副団長 農林部 50 年の森林推進課長 酒井 建

その他 長野県林務部、伊那市職員及び伊那市議会議員、大学関係者、学生、教育や林業、建築、醸造等に関する民間の方(公募による参加者含む)

5 添付資料 なし

本件に関するお問い合わせ先



伊那市役所 企画部 地域創造課 地域ブランド推進係

(課長) 田中 (担当) 浦野、平川

農林部 50 年の森林推進課 50 年の森林推進係

(課長) 酒井 (担当) 井口、北原

電話:0265-78-4111(内線)2155/FAX:0265-74-1250 mail:jkg@inacity.jp